

2016年8月14日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年35号)

当館が8月11日から14日にかけて把握した、リオ市における邦人被害は以下の通りです。

1 邦人の窃盗被害(空き巣)

8月6日(土)、邦人男性が外出中(午前7時から午後11時までの間)、宿泊先であるコパカバーナのホテルに置いていたスーツケースをこじ開けられ、中に入っていた現金がなくなっていることに気づいた。

2 邦人の窃盗被害(ひったくり)

8月11日(木)午前10時15分頃、邦人男性がバツハ地区のビーチを歩いていたところ、後方から男二人が現れ、いきなり邦人男性が手にしていたスマートフォン2台を奪い取って逃走した。

3 邦人の強盗被害

8月11日(木)午前11時頃、地下鉄マラカナン駅舎前において、邦人二人が知人と待ち合わせをしていたところ、二人組の男性が現れ、刃物をちらつかせながら、「セル・フォン!セル・フォン!」と言って、所持品を渡すよう要求した。邦人二人が要求に従い、それぞれがカバン(携帯電話、旅券等在中)を差し出すと、二人組はそれらを奪って逃走した。

4 邦人の窃盗被害(すり)

8月13日(土)午後4時頃、邦人男性がVLT(ライトレール)のシネランジェラ駅で乗車の列に並び、車両が到着し混み合う車内に乗り込んだ(乗り込む前には財布があったことを確認)。降車した際に財布(クレジットカード、キャッシュカード、タブレット、現金)をすられたことに気づいた。

【当館からのアドバイス】

- カバン等自分の持ち物から目を離さないようにしましょう
- 外出する際は、なるべく華美な服装はさけましょう。
- 多額の現金を持ち歩かないようにしましょう。
- 常に自分が警戒していることを周りにアピールしましょう。

- スマートフォン、カメラ等は不必要な際にはカバン等に収納しておきましょう。
- 万が一、強盗に遭ってしまったら、決して抵抗せず、相手の要求に従って下さい。